

# 「平成26年度 算数・数学チャレンジ in やまがた」概況

平成26年10月  
教 育 庁

## 1 全体として

- ・平成26年8月11日（月）に、県内9高校を会場として実施した。
- ・暑い中での実施となったが、最後まであきらめず意欲的に取り組んでいる参加者が多かった。
- ・今年度初めて終了後にグループワークによる振り返りの時間を設けた（小・中学生）。戸惑いながらも、自分の考えや感想を伝え合い、充実した時間となった。

## 2 参加者（受験者合計841人）

小学生の部		中学生の部		高校生の部	
学年	人数	学年	人数	学年	人数
1年	0	1年	23	1年	47
2年	2	2年	66	2年	117
3年	2	3年	120	3年	101
4年	14				
5年	157				
6年	192				
計	367	計	209	計	265

- ・主な対象は「小学生の部」5・6年生、「中学生の部」、「高校生の部」2・3年生とした。
- ・小学2年生からの申し込みもあり、幅広い学年からの参加があった。
- ・「高校生の部」は参加者が増えたが、小学生の部で参加者が減少した。

## 3 出題内容

- ・各部とも数学的な思考力・表現力を十分に試すことができる問題だった。
- ・日常生活に関連した題材を扱った問題や、具体的な事例を考えることで法則を見出すような問題を出題した。
- ・小学生の部、中学生の部では、考える過程を答えてもらうため、記述式の問題を出題した。

## 4 成績概況

- ・「小学生の部」「中学生の部」ともに、昨年度と比較して満点者の数が減り、平均点も下がった。記述式で解答する問題の正答率の低さが要因の一つとなったが、粘り強く解答している答案も多くみられた。
- ・「中学生の部」で1年生1名が上位者に入賞したことは、大いに賞賛される。
- ・「高校生の部」では、1つの問題を最後まで解くことができるかについて重視した。
- ・1問以上完答できた生徒が昨年よりも増えた。
- ・間違えても思考力や表現力、発想力などに優れた解答も多く見られた。

## 5 次年度に向けて

- ・日程に余裕をもって案内を各学校に配布できるように取り組むとともに、周知の仕方や申し込みの方法改善に向けて検討を進める。
- ・振り返りの時間の充実を始め、生徒の解答結果について効果的なフィードバックの方法を検討する。

「平成26年度 算数・数学チャレンジ in やまがた」表彰対象者

小学生の部				中学生の部			
	市町村	氏名	学年		市町村	氏名	学年
最優秀賞	山形市	阿部 龍介	6	最優秀賞	上山市	加賀 凜大	3
	山形市	浅野 笙	6		山形市	柳川 漂太	3
優秀賞	東根市	大原 朋也	6	優秀賞	鶴岡市	渡部 海翔	3
	寒河江市	荒井 優奈	6		鶴岡市	桜井 徳志	2
	酒田市	小笠原 将太	6		長井市	小笠原 圭香	3
	酒田市	青塚 果成	6		山形市	五十嵐 諒	2
	山形市	須藤 和弥	5		高島町	太田 舜	3
	東根市	庄司 伊吹	5		山形市	古川 雄士	3
	金山町	川崎 謙太	6		寒河江市	柴橋 健亮	2
	川西町	金子 佳弘	5		鶴岡市	成澤 崇之	3
	鶴岡市	五十嵐 日向	5		山形市	志鎌 海綺	3
	山形市	高橋 瑞樹	6		山形市	相沢 一帆	3
	山形市	佐藤 夏樹	6		村山市	松田 亮	3
	高島町	市川 諒介	6		大江町	柏倉 伶音	2
	三川町	野澤 賢史	5		大石田町	吾妻 侑直	3
	山形市	濱中 舞雪	5		金山町	千川原 香林	3
	天童市	鈴木 翼	6		山形市	齋野 光宇	3
	上山市	高橋 里緒	6		山形市	小佐野 きらり	2
	新庄市	佐藤 勝大	6		遊佐町	仲川 純平	3
	鶴岡市	山口 凜々子	5		天童市	沼澤 匠吾	1
鶴岡市	劔持 那奈	6					

高校生の部				
	学校名	学科名	氏名	学年
最優秀賞	山形東高校	普通科	大沼 賢矢	3年
優秀賞	山形東高校	普通科	小林 潤一	3年
	山形東高校	普通科	神保 瑞希	3年
	山形東高校	普通科	那須 寿基	2年
	山形東高校	普通科	星川研太郎	3年
	山形東高校	普通科	青柳 颯汰	1年
	山形西高校	普通科	高橋 里佳	2年
	米沢興譲館高校	理数科	坂本 侑弥	2年
	鶴岡南高校	理数科	小林 健	3年
	鶴岡南高校	理数科	原田 宏哉	2年
	酒田東高校	普通科	阿部 志門	3年
	奨励賞	山形東高校	普通科	大西 裕之
新庄北高校		普通科	荒川 侑馬	1年